

仕事のこと をどうしよう

市立ひらかた病院 がんサロン

統計によると、がん患者さんの3人に1人は就労可能年齢で罹患しています。そのため「がんになっても働きたい」「仕事と治療を両立したい」と考える患者さんが増えています。

一方で、がんになってから仕事を辞めたり職場を変えたりする方も多く、中には解雇されるといった実態も報告されています。

「市立ひらかた病院 がんサロン～仕事のことをどうしよう」は、がんと仕事について一緒に考えたいというサバイバーの皆さんが、自身の体験や気持ちなどを気軽に語り合う交流の場です。

- ・がんの治療を受けながら仕事を続けている方 ・がんをきっかけに退職したが新たに就職を考えている方
- ・がんの治療のために仕事を休んでいて復職を考えている方
- ・過去にこうした経験をされた方 ・がんと仕事について一緒に考えたいがんサバイバー

以上のような方に参加いただき、自分らしい「仕事と治療の両立」の仕方を考える機会になれば、と考えています。多くの方のお越しをお待ちしております。

◆日時 平成30年6月2日(土) 14時～15時30分

(13時30分受付開始)

◆場所 市立ひらかた病院 2階講堂

他院で治療を受けられた方もご参加ください ※予約不要・無料

お問い合わせ：市立ひらかた病院 がん相談支援センター TEL072-847-2821 (代表)